

2018年（公社）福島青年会議所 「櫻」

氏名： 柳沼 綾

タイトル「女性が活躍できる社会を」

1、企業名「株式会社ライトウェイ」



左：ライトウェイのロゴ（福島市 ライトウェイ で検索するとヒットします）

<http://rightway.jp.net>

右：飲食店カフェ&バー#269のロゴ（飯坂 269 で検索するとヒットします）

<http://www.flog269.com>

2、業種

「介護福祉（障害者、高齢者）、家事代行業、  
デザイン業（ウェブ、印刷物）、飲食店、物販業」

2、企業理念や目標

- ①社会保障費の圧迫軽減のために介護報酬が減額改訂になっても安定した運営がつづく、国と寄り添う介護事業所であること
- ②結婚しても出産しても、一生に1度しかない家族のイベントを見逃さずに仕事と両立出来る女性活躍企業であること

③介護職のやりがいや素晴らしさを日本中に伝え、子どもたちの「なりたい職業トップ10」に介護職が選ばれること

④住み続ける地域がより明るく豊かな町へ発展することを目指して、地元事業やまつりに積極的に協賛出来る企業であること

(注) ライトウェイを、障害者や高齢者や子どもたちのための福祉専門の会社に統一したいため、福祉以外の事業を行う別会社（NSD株式会社）を今年8月に設立。今後、デザイン業や飲食・物販業は新会社のNSDへすべて移行予定。

#### 4、会社の話

##### ～独創的な面～

・これまで紙ベースで行うのが常識だったあらゆるものをデータ化（※1）、クラウドで全スタッフが繋がることでいつでもアクセス、アップロード可になり、データが不足したり遅れたりすることがない

・※1の副作用として、紙での提出が極めて少ない分、何かを提出するためだけにスタッフが出勤するという時間と労力と交通費の無駄が省けている

・※1の副作用として、紙での保管物は原本必須とされている数種類の交付物のみとなり、事業所がすっきりと物が少ない状態を保てる

・入社半年に満たない有給権利のないスタッフでも、子どもの行事のプリントを提出すれば、その行事に参加出来るように確実にシフト調整対応をする（仕事で子どもの行事に行けなかった、ということがない）

・早朝&夜間の法律上の25%増手当だけに留まらず、8時より早い時間と18時より遅い時間の勤務時間にはすべて基本給に25%増手当を支給し、より多くの生活困難者にヘルパーの手が行き届くようスタッフの働く意欲向上を促進。

・土日祝日に出勤してくれるスタッフには、常勤や非常勤に関係なく、基本給が15%増する特別手当支給。土日祝日の8時より前と18時より後は、上記の25%手当も合算され、実に基本給に40%の手当がつく。

##### ～福利厚生～

・有給休暇は100%取得達成中

・系列の飲食店での社員割引あり

・月1定例会は全額会社負担で飲食付きのミーティング

・月1定例会はスタッフの子どもも参加OKで、子どもたち同士の交流も深い

- ・常勤や非常勤に関係なく、誕生日にはギフトカタログをプレゼントし、皆でお祝い
- ・常勤や非常勤に関係なく、定期健康診断の際にインフルエンザ予防接種を会社全額負担で実施

#### 5、J Cに入って良かった事（社業に活かした話）

福島J Cには「櫨」という原稿を書く文化があります。同じ委員会配属にならないと全員のメンバーとの交流は難しいJ Cで、この櫨というシステムは、普段交流することのないメンバーの個性に触れることの出来る素晴らしいものだと感じました。当社は利用者宅への訪問型事業ですから、スタッフ同士が交流する機会は月一度の定例会以外はほぼありません。すぐさまこの「櫨」のシステムを社内に取り入れました。1年に1回の原稿投稿ではあるものの、生い立ちを書くスタッフ、介護職との出会いを書くスタッフ、様々です。知らなかった一面を知れて、会社の内面部分の良い変化を感じています。

#### 6、J Cに入って良い影響を及ぼせたこと

40歳までの若手経済人で構成されているだけあり、福島J Cのみならず出向までしてみると全国各地や世界で活躍する同世代の刺激を受けられます。時代が何を求めているのかを感じ、事業として実行して自身の企業を育て、しっかりと稼ぎ、それを地域や人々のために迷うことなく還元する会員の姿に圧倒されました。“稼げなくても誰かのためになっていれば良い”などという甘えがなくなりました。